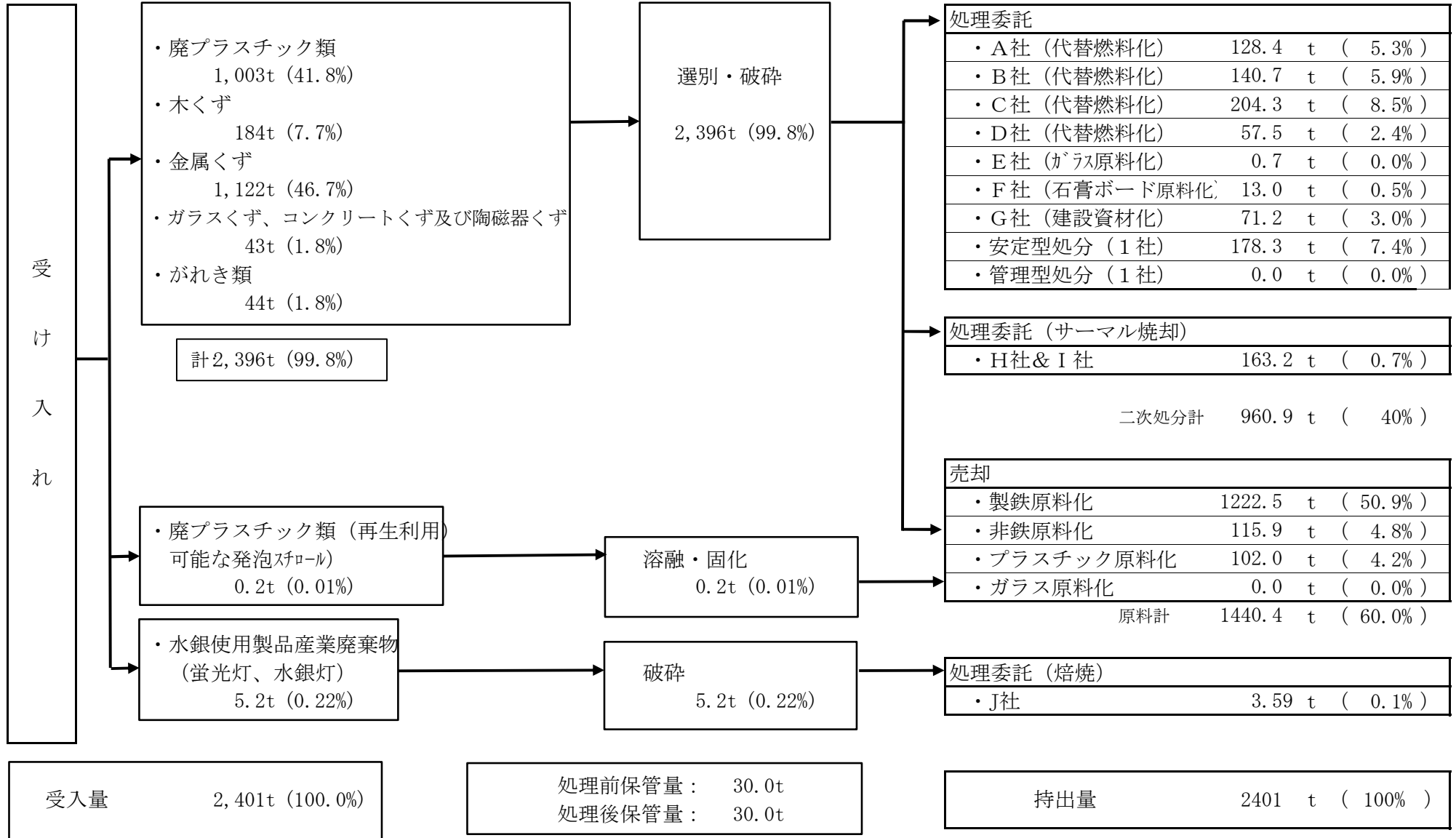


産業廃棄物の一連の処理の行程 (R3年4月～R4年3月)

2022年6月1日  
 秦野金属株式会社



処理委託		
・ A社 (代替燃料化)	128.4 t	( 5.3% )
・ B社 (代替燃料化)	140.7 t	( 5.9% )
・ C社 (代替燃料化)	204.3 t	( 8.5% )
・ D社 (代替燃料化)	57.5 t	( 2.4% )
・ E社 (ガラス原料化)	0.7 t	( 0.0% )
・ F社 (石膏ボード原料化)	13.0 t	( 0.5% )
・ G社 (建設資材化)	71.2 t	( 3.0% )
・ 安定型処分 (1社)	178.3 t	( 7.4% )
・ 管理型処分 (1社)	0.0 t	( 0.0% )

処理委託 (サーマル焼却)		
・ H社& I社	163.2 t	( 0.7% )

二次処分計 960.9 t ( 40% )

売却		
・ 製鉄原料化	1222.5 t	( 50.9% )
・ 非鉄原料化	115.9 t	( 4.8% )
・ プラスチック原料化	102.0 t	( 4.2% )
・ ガラス原料化	0.0 t	( 0.0% )
原料計	1440.4 t	( 60.0% )

処理委託 (焙焼)		
・ J社	3.59 t	( 0.1% )

受入量 2,401t (100.0%)

処理前保管量: 30.0t  
 処理後保管量: 30.0t

持出量 2401 t ( 100% )